

令和4年度瀬戸内海国立公園子どもパークレンジャー事業（広島地区）

テーマ：野呂山のやっかいものをさがせ！外来生物&イノシシ大調査

実施日時：2022年9月17日（土）9：00 — 19日（月・祝）15：00

場所：広島県呉市川尻町 野呂山^{のろさん}

講師：水辺のいきもの調査 上田 康二 氏（環境カウンセラー）

イノシシ解体体験 木村 勝美氏、岡田 芳幸 氏（広島県猟友会呉地区支部）

参加者：小学4～6年生20名

内容：国立公園の管理をする自然保護官のことを「レンジャー」といいます。子どもたちが「子どもパークレンジャー」となって、野呂山の外来生物やイノシシの調査をし、「やっかいものの真実」を伝える事業を開催しました。

1日目はオリエンテーションを行った後、水辺の生き物を、日が沈んでからは夜の鳴く虫を探しました。

2日目の午前には猟師さん指導の下、イノシシの解体体験をし、その場でBBQにいただきました。午後は、自分たちが出会ったやっかいものは本当にやっかいものなのか？を考え、やっかいもののメッセージを紙にまとめました。

台風が2日目の夜から広島に最接近する予報だったため、15:30に解散。

最終日はZOOMを使って、それぞれの自宅から参加し、「やっかいものの真実」発表会を開催しました。

【実施風景】



【1日目】

安芸川尻駅に集合。

保護者の方とはここでお別れし、バスで山頂にあるビジターセンターに向かいました。中腹にあるハチマキ展望台から瀬戸内海の^{たとうかい}多島海の眺めを見て、わあーっと^{かんせい}歓声！これが日本を代表する国立公園の景色です。



任命式

野呂山ビジターセンター到着後、任命式を行いました。

永瀬レンジャー（自然保護官）より任命書と子どもパークレンジャー（以下JPR）バッジを手渡しました。JPRとして、2日間野呂山の調査をし、やっかいものの真実を伝えてくださいね！



オリエンテーション

3日間のミッションや過ごし方、国立公園やレンジャーのお仕事について、JPRとして必要なことをインプット。



ミッション①水辺のいきもの調査

最初のミッションは水辺のいきもの調査！

2班に分かれて、1班は網を持って水辺をガサガサ・・・



発見した水辺のいきもの

左上：ニホンアカガエル

左下：ミズカマキリ

右上：クロスジギンヤンマのヤゴ

右下：フナの稚魚

そのほかに、クロズマメゲンゴロウ、チビゲンゴロウ、ルリボシヤンマのヤゴ、メダカなどが見つかりました。



そしてもう1班はザリガニ釣り！

「この辺結構おるよ！」「しっかり挟むまで動かさん方が釣れるよ！」

徐々にコツが分かると皆で声をかけあって、全員釣ることができました！



大量のアメリカザリガニ

中には5匹釣った名人も。
全員でなんと約70匹のザリガニが釣れました。



アメリカザリガニはやっかいもの？

外来種の代表格・アメリカザリガニ。どうやって日本に来たの？一見池で在来種と共存しているようにも見えるけどやっかいものなの？入ってきた経緯や問題をレクチャーし、皆で本当にやっかいものなのか議論してもらいました。



茹でザリガニを試食！

「せめて国立公園内はありのままの自然を残すために駆除した方がいい」「1匹の命を奪っても環境は変わらないから見守る」「外来在来問わず、命を無駄なくいただくべき」など、レンジャーの意見も様々。環境によって答えは変わりそうです。

最後は皆で釣ったザリガニを試食しました。美味しい〜と完食！



ミツツク②鳴く虫探し

ビジターセンターから国民宿舎に戻る間は、秋の鳴く虫探しをしました。姿はなかなか見つけれませんが、エンマコオロギやカントン、ウマオイやアオマツムシ（外来種）の声を聞くことができました。



ミミズク

と聞くとフクロウの仲間を思い浮かべるかもしれませんが、昆虫にも「ミミズク」がいるんです。外灯の近くには、ミミズクや蛾など夜に活動する虫もたくさん集まっていました。



【2日目】

昨日池に仕掛けたカゴに、なんと…カメが入っていました。上がイシガメ（在来種）、下がクサガメ（外来種）とイシガメの交雑種。



カメの解説

今回参加した環境省インターン生の村永くんに、カメの違いを説明してもらいました。



イノシシはやっかいもの…？

イノシシは人をおそったり、畑を荒らしたり、やっかいものの要素しか見当たらないけど、実際どうなの？イノシシの解体に向けて、どんな生きものでどんな問題があるか、レクチャー。



ミツヨリ③イノシシ解体体験

いよいよイノシシの解体体験です！
数日前に罾にかかった20kgくらいの子どものイノシシを解体します。



猟師さん指導の下、皮剥ぎ！

猟師さんによっても剥ぎ方が違い、こちらは吊して皮剥ぎ。
皮と肉の間にそっとナイフを動かすと、少しずつ切り離されていきます。嫌がる子もいるかな？と思いましたが、皆1回じゃ物足りず、並んで2回以上やりました。



イノシシの皮

使い慣れない包丁さばきではありましたが、このとおり。顔の周りまできれいに皮が剥がせました。



お肉の解体

皮剥ぎを終えたら、部位ごとに切り分けていきます。
「どこの部位が一番美味しいですか？」「頬肉かね～」と頬肉を切り離していました。



イノシシ肉美食！

解体したお肉はその場でBBQにいただきました。
スペアリブが特に美味しかったようで、骨までしゃぶってきれいにいただきました。



「やっかいものの言い分」レポ作成
猟師さんからはなんとイノシシの牙のお土産をいただきました。やったーっ！

最後に、明日の発表会に向けて、野呂山で見て聞いて知ったやっかいものの言い分を1枚の紙にまとめました。



【3日目】ミツヨリ④「野呂山のやっかいものの真実」発表会

台風が接近したため、3日目はZOOM開催。スライドショーを見てふりかえったり、発表を行いました。難しいテーマでしたが、皆がしっかり考えた事が伝わる内容でした！



JPR 無事終了！

台風で初めての中止か…と思いましたが、コロナにも台風にも負けず2日間の現地調査を終え、ZOOMでの発表会も無事開催できました。
ここで得た学びや気づきを忘れず、これからも身近な環境問題に取り組んでもらえたらなと思います。
3日間、お疲れさまでした！